



公開シンポジウム

「陸域システムの持続性研究における GLPとデジタル技術の役割」



2023年9月28日（木）13:30～17:00
Zoomによるオンライン開催（定員500名）

参加登録フォーム

参加費無料

どなたでも
参加可能

主催：日本学術会議環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP合同分科会
後援：Global Land Programme(GLP)日本拠点オフィス、地理学連携機構
参加方法：事前登録制 下記のURLまたは右のQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/1FsBsD7jNvjfj4WMA>



申込〆切：9月25日

本公開シンポジウムでは、陸域システム科学研究を牽引してきたGLP日本拠点オフィスにおける研究の最新成果、及びデジタル技術を活用した最先端の陸域科学研究を紹介し、データサイエンス及びGLP関連活動における研究アイデアや応用に関する最新情報を共有する。その後、陸域システムの持続可能性向上に向けて、GLPと革新的デジタル技術がどのように貢献できるかについて議論を深めたい。

開会	
13:30	開会挨拶 春山 成子（日本学術会議第三部会員、三重大学名誉教授）
13:35	趣旨説明 大黒 俊哉（日本学術会議連携会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授）
第1部 GLP Nodal Officeにおける研究活動の紹介	
13:40	「インドにおける地理空間データを用いた土地劣化モニタリング」 Raveena Raj（北海道大学大学院地球環境科学研究院博士研究員）
13:55	「精密農業に向けた機械・深層学習技術と高精細データの活用」 Xiao Juan（北海道大学大学院地球環境科学研究院博士課程）
14:10	「ヒマラヤにおける土地利用土地被覆の変化を引き起こす人・就業機会・商品間の移動関係：サガルマータ国立公園の例」 Yujie Sun（北海道大学大学院地球環境科学研究院博士研究員）
第2部 デジタル技術を活用した最先端の陸域科学研究	
14:25	「JAXAにおける土地利用・土地被覆研究」 奈佐原 顕郎（筑波大学生命環境系准教授）
14:40	「モンゴルにおける土地利用変化が草原生態系に及ぼす影響評価」 王 勤学（国立環境研究所地域環境研究センター主席研究員）
14:55	「ドローン空撮による植生・土地利用解析」 重松 智穂美（公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）研究員）
15:10	「航空機LiDAR計測の森林資源・生物多様性保全への応用」 奥田 敏統（広島大学大学院統合生命科学研究科特任教授）
15:25	「生物多様性と森林バイオマスのモニタリング観測におけるデジタル技術の活用と多様なステークホルダーとの協働」 石原 正恵（京都大学フィールド科学教育研究センター准教授）
15:40	「土地利用管理に関連したJICA研修の10年間の経験に基づくGIS、リモートセンシングの役割」 吉村 暢彦（酪農学園大学農食環境学群環境共生学類講師）

休憩（15分）（15:55～16:10）

総合討論	
16:10	司会 Ram Avtar（北海道大学大学院地球環境科学研究院准教授） 渡辺 悌二（北海道大学大学院地球環境科学研究院教授）

閉会	
16:55	閉会挨拶 氷見山 幸夫（日本学術会議連携会員、北海道教育大学名誉教授）
17:00	終了

